

会長就任あいさつ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏



このたび、2期3年を経て、3期目として、さらに2年間信任を頂きました。

これまでの2期3年では以下のことを実行してまいりました。

①埼玉県内の県立高校において、実際の授業で放射線に関する基礎知識を「放射線特別授業」として講義を行っています。診療放射線技師は、市民において最も身近な放射線の専門家として教鞭を取ることは、大変に意味のあることだと考えています。

②技師会事務所の老朽化に伴い、各箇所の修繕を行いました。これからも技師会事務所を大切に使用して、次の世代にバトンタッチをしなければならぬと考えています。

③公益事業会計の適正化を行いました。公益法人は、公益事業会計という特殊な会計方法で処理されています。公益事業比率や遊休財産が適正に運営できるよう努めてまいりました。

さらに本会は毎年数多くの公益事業を行って

ます。各市町村で開催する「健康祭り」などに参画し、被ばく相談事業も積極的に行ってきました。これらの公益事業の内容を埼玉県議会議員の先生方に説明し、本会が埼玉県民へ公益事業を積極的に行っていることをアピールしました。

最後に、乳がん検診における超音波検査を行う専門家の育成に関して、鈴木監事から会派代表として埼玉県知事へ代表者質問を行っていただきました。

本会は公益社団法人であり、埼玉県の公衆衛生向上のために、公益事業・学術事業・編集事業を行っています。多くの会員は、多数の公益・学術・執筆活動などに力を入れており、今期2年間では、これらの事業のさらなるアピールをしています。

また2019年9月には、日本診療放射線技師会全国大会があり、その基盤も作ってまいります。

会員にとって魅力ある企画・組織作りをしたいと考えています。

よろしくお願い申し上げます。

役員就任あいさつ

副会長



堀江 好一

JCHO さいたま北部医療センター

今期、理事として選任され、引き続き副会長を務めさせていただくことになりました。

理事として20年目を迎えましたが、今期を人生の節目と考え、ますます脂の乗ってきた田中会長を陰で支える最古参の理事として2年間お仕えしたいと思います。よろしくお願い致します。

副会長



富田 博信

埼玉県済生会川口総合病院

平成18年度より本会学術担当理事・平成20年度学術常務理事・平成26年副会長と、貴重な経験をさせていただき、早いもので10年が経過しようとしております。その間、CT認定講習会の立ち上げ、大宮ソニックシティでの学術大会恒例化、日本放射線技術学会との合同企画、平成28年度関東甲信越日本診療放射線技師学術大会埼玉開催、昨年は大学での学術大会開催なども行ってまいりました。また読影の補助のさらなるスキルアップのために、従来のフィルム読影からモニター読影システムの構築にも力を入れてまいりました。今期も各事業の継続と、さらなる本会の発展に、微力ではありますが尽力してまいります。またさらなる会員増加策を検討して参りたいと思います。皆さまのお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

常務理事（総務）



結城 朋子

埼玉県済生会川口総合病院

このたび、平成29、30年度役員として総務を継続担当することとなりました。総務は、会の要であり運営になくてはならない存在です。これまでの1期2年間、平野常務理事に引っ張っていただきながら何とか業務を行ってまいりましたが、なかなかお役に立つことができませんでした。今までの歴代総務担当者の仕事ぶりを振り返ると、自分に務まるかどうかやや不安ではありますが、これからは新任の城常務理事と協力しながら会の運営を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

常務理事（総務）



城處 洋輔

埼玉県済生会川口総合病院

今期より総務常務理事を担当させていただくことになりました、埼玉県済生会川口総合病院の城處（きどころ）です。平成26年より3年間、皆さまのご支援のおかげで学術理事を務めることができ、この場をお借りして感謝申し上げます。総務では技師会の運営が中心となります。多くの事業を円滑に実施するため「縁の下の力持ち」となり、会員の皆さまに少しでもお役に立てるよう努めていきたいと存じます。至らない点多々あると思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

常務理事（財務）



潮田 陽一

埼玉医科大学総合医療センター

財務を担当致します潮田です。今回で2期目となります。公益社団法人格の維持を第一目標にした1年目、関東甲信越診療放射線技師学術大会開催のため、大きく動いたお金を管理することに四苦八苦した2年目を糧に、3年・4年目は「無理なく・無駄なく」をモットーに活動したいと考えています。

常務理事（学術）



今出 克利

さいたま市民医療センター

平成24年度より学術担当理事を2年間、平成26年度学術常務理事を3年務めさせていただき、今期も継続して学術常務理事を担当させていただくことになりました、さいたま市民医療センターの今出です。埼玉県診療放射線技師会会員の皆さまのお役に立てるよう、学術委員と一丸となって頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

常務理事（編集・情報）



八木沢 英樹

JCHO 埼玉メディカルセンター

このたび、常務理事として就任する事となりました。JCHO 埼玉メディカルセンター 八木沢 英樹と申します。昨年同様に編集情報を担当致します。主な活動として、会誌・ホームページなどによる発行と情報配信です。編集情報委員会の中には、平成28年度から企画班が加わり、会誌の学術企画・学術大会企画なども行っています。会員のために楽しく興味ある会誌・ホームページになるように、委員と共に協力していく所存であります。よろしくお願い致します。

常務理事（公益）



佐々木 健
上尾中央総合病院

今期も公益常務理事を務めさせていただく事となりました、上尾中央総合病院 佐々木 健です。従来の事業に加え、①診断参考レベルの普及・調査、②放射線検査の啓発、を2つの柱として展開していく所存です。①につきましては、アンケートのお願いをしておりますのでご協力いただければ幸いです。②につきましては、公立高校での特別授業・他医療職への勉強会を進めております。公益委員会活動は、理事・委員、ひいては会員皆さまのお力添えがあって成り立つものだと認識しております。ご理解とご協力のほど、よろしくお申し上げます。

理事（学術）



寺澤 和晶
さいたま赤十字病院

昨年より、長野赤十字病院からさいたま赤十字病院に勤務異動致しました。それに伴い、埼玉県診療放射線技師会にお世話になることになりました。異動して驚いたことは、都会？環境？のせいか、非常に勉強会や研修などのイベントが盛りだくさんにあることでした。さらに平日・週末問わず若手・中堅の技師がこぞって勉強し、プライベートの時間も惜しまない姿勢には二重の驚きを覚えました。私も平成2年に就職して以来、診療放射線技師として27年目になりましたが、まだまだ学ぶことだらけです。今回、学術理事として皆さまのお手伝いをする事になりましたが、できる限りこれまでの経験や学びを伝えていければと思っております。まだ知らない方ばかりですが、気軽にお声掛けいただければ幸いです。

理事（学術）



山田 智子
さいたま赤十字病院

学術担当として二期目になりました。一期目は右も左も分からないまま、あっという間に過ぎてしまったように感じております。今期は会員の皆さまはもちろんですが、公益社団法人の役割として、一般の方々へもっと役立つ活動をしていけたらと考えております。また学術理事として会員の皆さんの日々の業務に生かせるような企画も考えていきたいと思っております。学術事業を通して、埼玉県の診療放射線技師が繋がれるような活動をしていきたいと思っております。まだまだ未熟ではありますが、埼玉の素晴らしい諸先輩方に指導を頂きながら、私自身もより一層成長できるように頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

理事（学術）



中根 淳

埼玉医科大学総合医療センター

盛夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと中根淳は、このたび平成 29 年 6 月 18 日付をもちまして、埼玉県診療放射線技師会の理事に就任致しました。

微力ではございますが、さまざまな年代の会員の皆さまに有益な企画を立てられるよう、一層の努力を傾けるとともに、本会の発展に力を尽くしてまいりたいと念願しております。

今後とも引き続き、ご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもって就任のごあいさつを申し上げます。

理事（編集・情報）



清水 邦昭

深谷赤十字病院

前期に引き続き編集情報理事を務めさせていただきます、深谷赤十字病院の清水邦昭です。以前は編集情報委員として 2 期、その後、1 期理事として会誌や技師会ホームページの充実、メールマガジンの配信を行ってまいりました。

今後よりいっそう魅力のある会誌作りや、情報の多いホームページ作りを手伝っていきたいと思っております。

まだまだ未熟なところも多々ありますので、皆さまのお力添えなくしてつとめることができないところもあります。今後変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

理事（公益）



芦葉 弘志

丸山記念総合病院

会員の皆さま、埼玉放射線を購読の皆さま、こんにちは。

このたび、役員選挙ならびに理事会において、平成 29、30 年度公益担当理事に任命されました芦葉です。

公益担当としましては、継続開催の埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定・ホームページからの被ばく相談・放射線特別授業などをしっかり取り組んでいきます。

これらの企画を通して一人でも多くの方に放射線の安全について知っていただき、安心した放射線診療が受けられるよう努力してまいります。また会員個人や県民にとって親しみのある埼玉県診療放射線技師会となるようにしていきたいと思っております。

理事（総務）第一支部



双木 邦博
さいたま市立病院

このたび、第一支部理事を務めることになりました、さいたま市立病院 中央放射線科 双木邦博（なみき くにひろ）です。今回で4期目となります。前期より埼玉県診療放射線技師会のお役に立てるよう務めて行きます。

地区勉強会・合同勉強会を開催して、第一支部会員の皆さまへ少しでもお役に立てればと思っております。今後も他支部と相互に交流して親好を深めて行きます。

第一支部役員、会員の皆さまのお力をお借りして、第一支部を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

理事（総務）第二支部



大西 圭一
所沢ハートセンター

第二支部理事を担当させていただく大西です。

支部理事に与えられているミッションは「入会促進」「地域の活性化」「人材育成」と考えています。第二支部は役員と他支部の皆さまに助けられながら、積極的に若手を

演者・座長として起用しみんなで成長できる会です。

昨年度は、熊谷ホテルヘリテージで全支部合同勉強会および懇親会を開催することができ、地域で頑張っている役員同士が交流できた素晴らしい会となりました。前年度より多くの方にご参加していただけるよう役員一同企画作りしていきたいと考えています。

非常に頼りになる役員とともに第二支部を盛り上げていきたいと思っております。

第二支部の代表として県技師会に貢献できるよう務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

理事（総務）第三支部



山岸 正和
埼玉医科大学国際医療センター

今年度より第3支部の理事を務めさせていただくことになりました、埼玉医科大学国際医療センターの山岸正和と申します。

若い頃に支部役員を担当させていただいたことがありますが、当時は何も分からず、言われたことだけやっていました。あれから随分と時がたち、今度は自分が支部理事として仕事をする事に対し、改めて責任を感じております。

渡部前理事のバイタリティー溢れる活躍を受け継ぎながらも、私なりに第三支部の皆さまと共に充実した活動を行っていただけるよう取り組む所存です。

不慣れではありますが、お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

理事（総務）第四支部

齋藤 幸夫
深谷赤十字病院

支部理事を担当して四年目となりました深谷赤十字病院の齋藤です。私の大好きなスナック菓子「カール」が関東から消え少し寂しい気持ちもありますが、これも時代の流れでしょうか？継続する難しさを感じます。そこで今期の第四支部のテーマは継続です。会員中心で行う勉強会、秩父・深谷・行田で毎年行われている公益活動、暑い熊谷で行われる支部合同勉強会など企画は盛りだくさんです。会員の皆さまの力添え、また支えられながら盛り上げていこうと思います。2年間よろしくお願ひ致します。

理事（総務）第五支部

矢崎 一郎
春日部市立病院

私もとうとう年齢が50を迎えることになりました。いつまでも若いつもりでいるのが無理もきかなくなっているのをひしひしと感じます。いまだ未熟者ですが、人生50年最期を迎えるつもり？で事にあたっていきたくと考えております。

支部の今後も視野にいれ、ご協力いただいている皆さまに感謝をしつつ、これからも邁進する所存です。もう少しお付き合いいただきますよう、よろしくお願ひ致します。

理事（総務）第六支部

山口 明
埼玉県立小児医療センター

このたび、埼玉県診療放射線技師会理事（第六支部）に就任しました、埼玉県立小児医療センターの山口明です。技師会活度においては、支部の学術担当および副会長をさせていただいた経験しかありませんが、理事として支部活動を中心に精一杯がんばりたいと思っています。これから任期の2年間、皆さまどうかご指導ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

監事

橋本 里見
JCHO 東京新宿メディカルセンター

このたび、2期目の監事に就任することとなりました。監事というと理事の職務の執行を監査し、業務および財産の状況の確認をするという重要な職務であると同時に、理事会に出席して意見をいう権利を与えられております。その監事の大任を力不足ではありますが、粛々と果たし、埼玉県診療放射線技師会の発展に微力ながら貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

監事



鈴木 正人
埼玉県議会議員

このたび、監事として再選されました鈴木正人でございます。

埼玉県診療放射線技師会の皆さまが常日ごろ、公益・学術・編集活動などに努力されていることは十分に承知しております。私は監事職を拝命されておりますが、同時に埼玉県議会議員として、技師会の活動を埼玉県民や行政にフィードバックしていくことが役目と考えております。どうぞ、2年間よろしく願い申し上げます。

顧問



小川 清

ご無沙汰です。このたび、会長はじめ役員の方のご推薦により、本会の顧問を引き受けさせていただくことになりました。私の約四十年にわたる技師会活動は、診療放射線技師の存在感の充実、逆から見れば診療放射線技師の危機感の現れでした。確かに医療技術は素晴らしく進歩し、診療放射線技師が医療の中で貢献度を高めてきたことは事実ですが、法律的には基本何も変わっておりません。診療放射線技師自らが、その意識を持ち、日本中の診療放射線技師が一つにまとまらないと、われわれの将来は厳しいと思います。本会の活動を陸上競技のランナーに例えれば、加速度を上げて中間加速に入っている状態と認識しており、そのトップランナーとして本会にはゴールを目指して走りきっていただきたく、微力ながらお手伝いさせていただきます。よろしく願い致します。